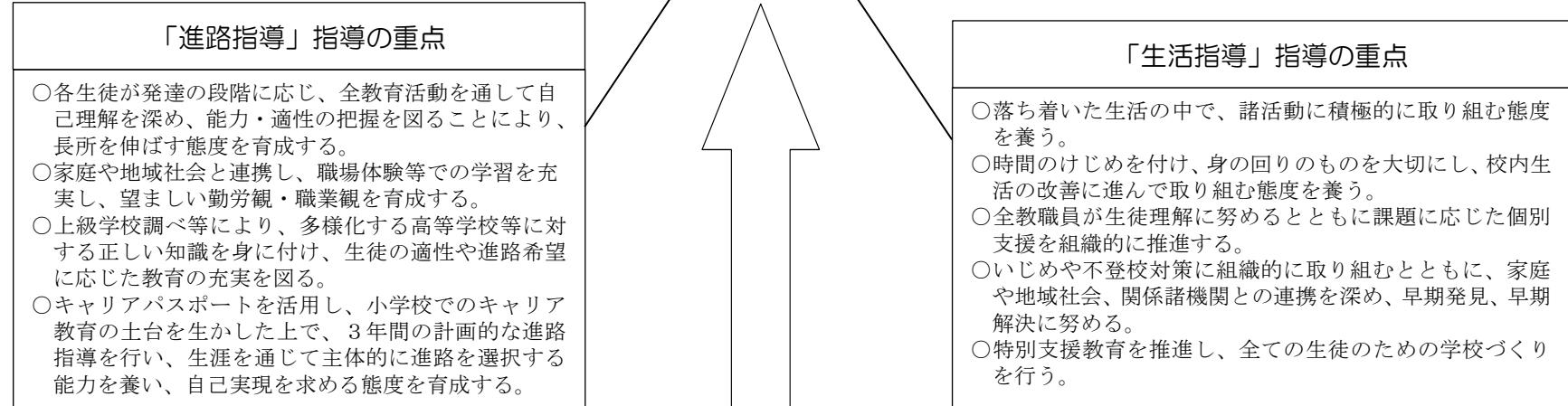
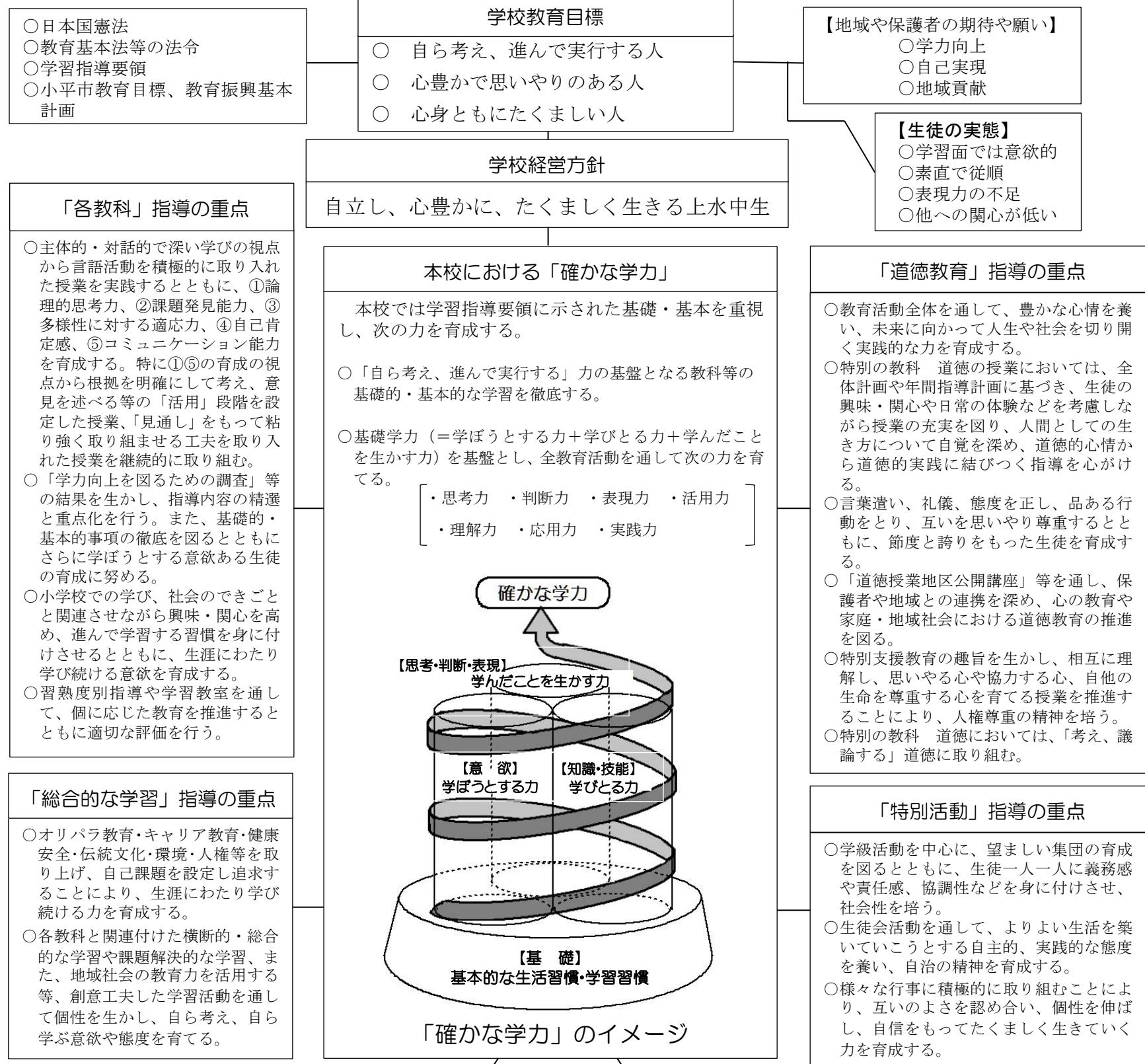


令和3年度 学力向上を図るための全体計画

小平市立上水中学校



本校の授業改善に向けた視点

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価等を実施し、生徒の視点に立った指導内容や計画の見直しと指導方法の改善を図る。 ○指導計画を重点化し、基礎・基本の定着を図るとともに、発展的内容の指導を工夫する。 ○少人数での話し合い活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員が連携し、複数教科等の連携を図りながらカリキュラムマネジメントの確立を目指す。 ○東京方式 習熟度別指導ガイドラインに基づいた授業を通して数学・英語の確かな学力の向上を目指す。 ○朝読書の時間を設定し、落ち着いた学習環境の整備と基礎学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ICTの活用を通した、主体的・対話的な授業づくり」を研究主題とし、個々の生徒がPC端末を授業内で有効に活用し、主体的に学び、さらに知識を生徒同士の対話により、深い学びにつなげていく指導を工夫する。 ○特別支援教育に基づいた授業支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初及び保護者会等を通し、本年度の評価について説明し、保護者や生徒の理解を得る。 ○授業アンケートや保護者アンケートの結果を授業改善に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中連携教育の観点から9年間の系統性を各教科で考慮して指導を行う。 ○学生ボランティア等の積極的導入や公開授業を行ったりすることで授業の更なる充実を図る。 ○家庭学習定着への理解と協力を得るよう呼びかけ、充実させる。